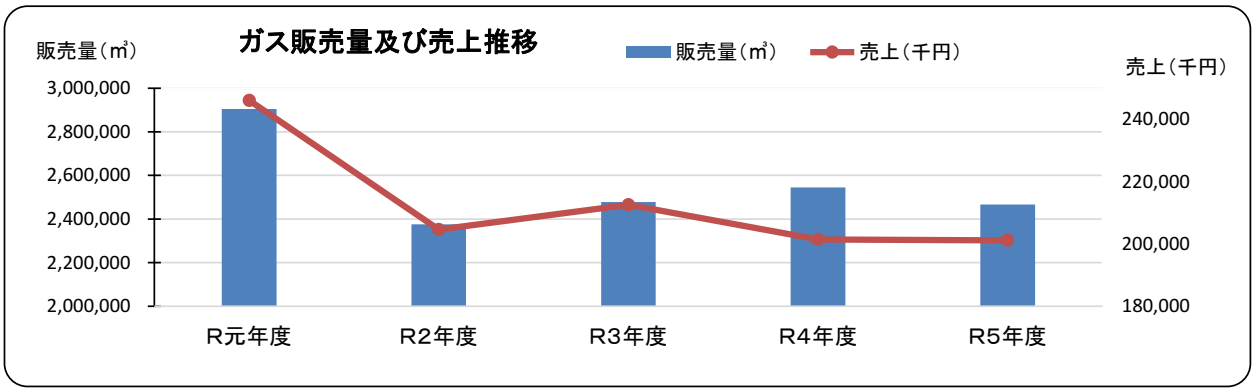
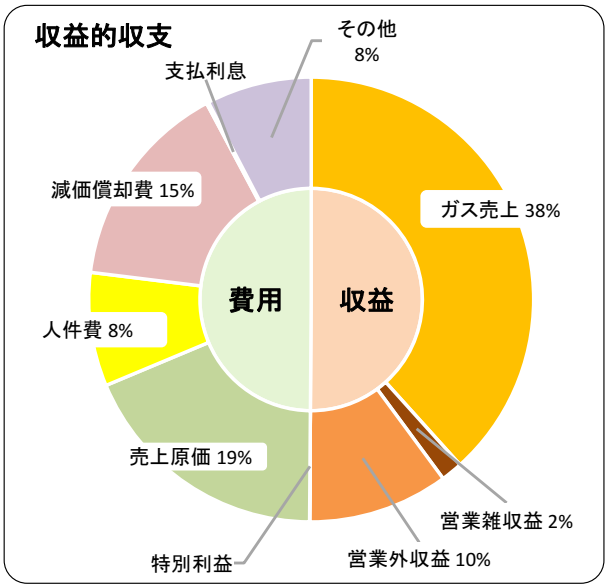
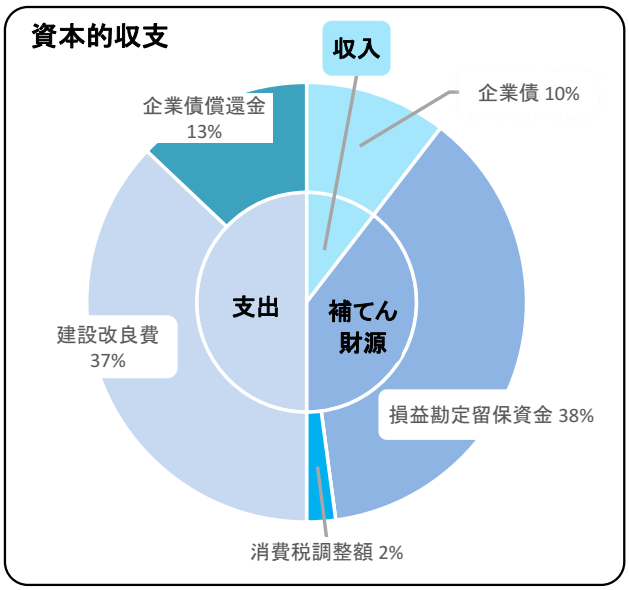
令和5年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事　　業	概　　要
・ 年度末需要家件数　2,868件【年間累計数：34,510件】	（対前年度 ▲18件、年間累計 ▲190件）
・ ガス販売量（9,200kcal）　2,466,585㎥	（対前年度 ▲78,592㎥）
・ ガス導管延長　120,604.9m	（対前年度 16.4m増加）
・ 供給管本数　3,318本	（対前年度 8本増加）



収　　支	予算額（A）千円	決算額（B）千円	増減額（B）−（A）	対前年度比（%）
収益的収支（税抜）				
ガス事業収益	286,867	263,026	▲ 23,841	114.1%
ガス事業費用	290,222	261,808	▲ 28,414	99.9%
当年度純利益（▲損失）	—	1,218	—	103.9%
繰越利益剰余金（▲欠損金）	—	▲ 12,158	—	—
その他未処分利益剰余金変動額	—	0	—	▲ 100.0%
当年度未処分利益剰余金（▲未処理欠損金）	—	▲ 10,940	—	▲ 10.0%
資本的収支（税込）				
資本的収入	40,001	15,200	▲ 24,801	50.7%
資本的支出	173,580	72,815	▲ 100,765	55.2%
差引不足額	—	57,615	—	62.7%



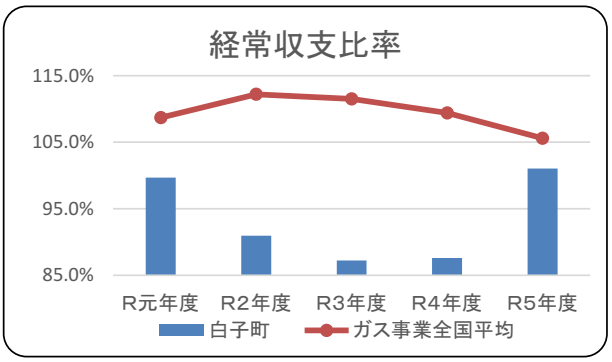


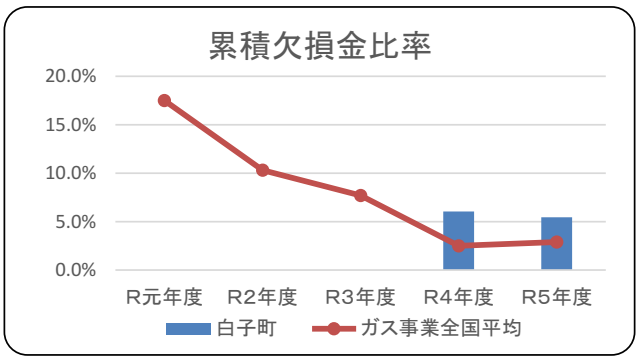
収　支　概　要

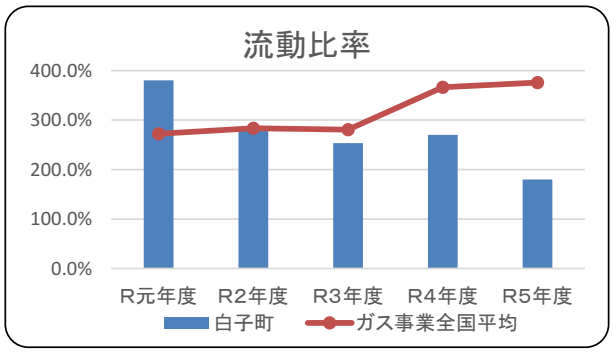
収益的収支（税抜）において、収益では、年間を通して政府の実施する電気・ガス価格激変緩和対策に参画し、ガス料金の値引きを反映したため、ガス料金収入（前年比 △0.15%）は減少しましたが、7月より適用したガス料金の値上げ改定に伴う収益改善効果も表れ、税抜き総収益 は 263,026千円（前年比 114.1%）でありました。
また、費用では、物価上昇等の理由からガス売上原価等の経費が増加したものの、人員削減に伴う人件費（前年比 △16.42%）の抑制効果によりガス事業費用は 261,808千円（前年度比 △0.10%）でありました。
通年での改定料金適用ではないものの、純利益 1,218千円が生じましたが、純利益を繰越欠損金残高の補てんに充てたため、未処理欠損金残高は 10,940千円に減少しました。
資本的収支（税込）は、繰越事業を優先的に取り組んだものの、資本的収入は企業債 15,200千円の収入に対し、資本的支出では建設改良事業の進捗に遅れが生じた影響から53,979千円、企業債償還金 18,836千円の支出であったため、発生した不足額 57,615千円を消費税資本的収支調整額 3,079千円及び損益勘定留保資金 54,536千円で補てんしました。
なお、建設改良事業における進捗管理の遅れに伴い次年度への繰越事業費 84,316千円（企業債 24,800千円）が生じました。

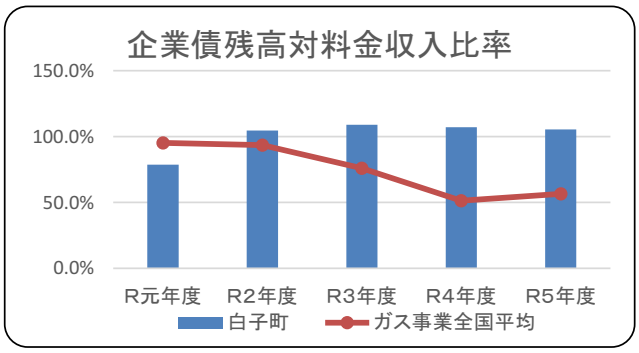
剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金（未処理欠損金）
R5年度期首残高（A）	13,250千円	0千円	49,379千円	▲ 12,158千円
当年度純利益（損失）	―	―	―	1,218千円
当年度剰余金変動額（B）	0千円	0千円	0千円	0千円
R5年度期末残高（A）-（B）	13,250千円	0千円	49,379千円	▲ 10,940千円

財務分析指標









経営健全化判断比率

公営企業法の有無	算　　式	経営健全化基準	資　金　不　足　比　率
有	（流動負債+建設改良に充てる企業債-流動資産）/（営業収益-受注工事収益）*100	20.0%	―

※　算出されない場合は「－」表示